



F I B E R

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈超臨界流体による繊維・高分子
加工のパラダイムシフト〉

||| 報 文 ||| Original Articles





次世代基幹素材の開発、研究員募集。

新たな「基幹素材」の誕生は、ものづくりのパラダイムを激変させ、次の50年～100年を支える産業を生み出してきました。私たちは、「クモの糸」を足がかりに、銅鉄やガラスと同じような次世代の「基幹素材」を創成すべく、構造タンパク質の分子・遺伝子レベルでの設計技術、原料タンパク質の微生物発酵プロセス開発、繊維化・フィルム化などの加工技術、並びにそれらの量産プロセス開発に取り組んでいます。私たちは、人類がタンパク質を素材として使いこなせる時代を切り拓くため、ビジョンに賛同する研究員を募集しています。

代表者からのメッセージ

将来誰かが取り組まなければならない全地球的課題はたくさんありますが、リスクとリターンを考えると、より短期的に高い収益を得られる事業が優先されがちです。一方、世界を見渡せば、日本は極めて恵まれた国であることがわかります。そんな恵まれた国の企業は、人類社会の大きな問題や課題を率先して解決し、これからの人類が歩むべきビジョンを世界に示す義務があります。

私たちは、たとえリスクが高く、大勢が不可能だと思っていることであっても、パラダイムを大きく変えるような、本当の意味で人類社会を前進させるプロジェクトに取り組みたいと切に願うメンバーが集まり、計画を実行しています。新しいやり方で、新しいことに挑戦することは本当にエキサイティングであり、情熱を傾けるに値します。

「会社」は「社会」のためにある。私たちはその志を貫き、自我作古の気概を持ち、不撓不屈の精神をもって、誰かが取り組まなければならぬこと、本当に取り組むべきことに挑戦するチームであり続けます。

代表取締役社長 関山 和秀

求める人物像

目標達成に向けて継続的な努力が出来る方。自ら問題を発見し、その解決に向けて主体的に行動出来る方。チーム力を意識しメンバーと協調しながら仕事を進められる方。人徳のある方。

求める能力、経験

高分子材料の各種分析（構造解析、成分分析、質量分析等）、有機合成化学、高分子材料の化学修飾による物性制御、繊維化技術、フィルム化技術等。

応募方法

当社ホームページ【Recruit】よりご応募下さい。

問い合わせ

当社ホームページ【Contact】よりお問い合わせ下さい。



当社開発の合成クモ糸繊維「QMONOS」で試作したドレス

www.spiber.jp

スパイバー株式会社 〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字246番地2

西松・金井研究室

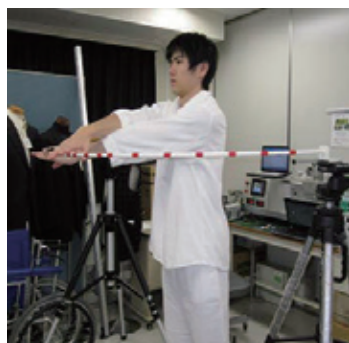


西松・金井研究室は、繊維製品をはじめとする様々な製品の
「快適性(心地)」を数値化する技術を世界に発信！



「人(ニーズ)」と「製品(シーズ)」の関係を工学的に解析して、様々な製品の新規価値の創造を目指しています。これまで、研究室の基礎研究成果を迅速に具現化するために、産学連携によって多くのケーススタディを実践し、大学としての新たな社会貢献を行っています。

◆「心地」の数値化に関する研究 ◆



「着心地評価」



「座り心地・握り心地評価」



「芳香効果の評価」



「歩き・背負い心地評価」

◆「心地」を数値化した製品の提案 ◆



スーツを科学する

「3D スリムスーツ(AOKI)」



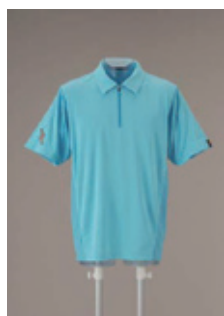
「ロイヤルコンフォートスーツ(AOKI)」



「チャイルドシート(コンビ)」



「通学用かばん(タイワホーサン)」



「ゴルフウェア(横浜ゴム)」



「ケナフシャツ(フレックス)」



「ルームウェア(内野)」



「香りとデオドラントのソフラン(ライオン)」

【連絡先】

教授 西松豊典, Tel : 0268-21-5379 / e-mail : toyo@shinshu-u.ac.jp

〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部 先進繊維工学課程

領域をこえ 未来へ



次の時代を、始めています。

王子グループは創業から140年の歴史の中で、さまざまな時代を生き抜いてきました。
いま、世界規模で経済環境が変化する中で、私たちは次の時代にふさわしい構造改革に取り組んでいます。

グローバル化のさらなる推進や高付加価値製品の開発、新資源の開発、

カスタマー・インによる生活や産業に密着した製品づくりなど、

従来の枠や考え方にとらわれない新しい発想で、未来へ歩み始めています。

繊維学会誌

平成 25 年 10 月 第 69 巻 第 10 号 通巻 第 811 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 無水染色の実用化で膨らむ超臨界流体技術への期待 奥 林 里 子 … P-323
- 【特 集】 〈超臨界流体による繊維・高分子加工のパラダイムシフト〉
- 生体由来組織に対する超臨界流体抽出法の適用 澤 田 和 也・藤 里 俊 哉 … P-324
- 超臨界流体による CFRP のリサイクル技術 岡 島 い づ み・佐 古 猛 … P-331
- 高压及び超臨界二酸化炭素を利用した高分子の結晶化と微細発泡化 浅 井 茂 雄 … P-335
- Water-Free Dyeing of Textiles from Lab to Industrial Scale Geert Feye Woerlee … P-341
- 【連 載】 〈文化の伝承－祭り－7〉
- 祭りの伝播・伝承を考える－佐久市岩村田祇園祭の鷺とオフネ－ 三 田 村 佳 子 … P-343
- 【繊維学会創立70周年記念連載】 〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－2〉
- 戦前編 I、殖産興業で紡績業発展(下) 松 下 義 弘 … P-348
- 【レポート】 The 6th International Symposium on High-Tech Fiber Engineering for Young Researcher
(韓国、ソウル)参加報告 鈴 木 浩 太 … P-352
- 平成 25 年度第 44 回繊維学会夏季セミナーレポート
- 繊維の「グローカリゼーション」を目指して－Think Globally, Act Locally－
..... 夏 季 セ ミ ナ ー 実 行 委 員 会 … P-354
- 〈平成 24 年度繊維学会研究助成成果報告〉
- 糖鎖修飾ポリ乳酸の保護基フリー合成と機能探索 田 中 知 成 … P-358
- セルロースとナノファイバーを用いた新規機能性材料の創製 中 西 弘 充 … P-361
- 【議 事 録】 (一般社団法人)繊維学会第 650 回理事会議事録(抜粋) P-364

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 ラッカーゼによる色素の漂白作用 長 嶋 直 子・石 川 貴 章・高 岸 徹 … 183
- 自己組織化膜形成と精密表面グラフト重合を利用したアパタイト/チタニア/
PET 複合材料の創製 本 柳 仁・福 本 悠 吾・箕 田 雅 彦 … 191
- 【技術報文】 環境負荷低減を目的とした綿布への土顔料染色
..... 塚 崎 舞・小 松 恵 美 子・森 田 み ゆ き・岡 村 聡
森 田 く ら ら・伊 村 芳 郎・河 合 武 司 … 198

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 69, No. 10 (October 2013)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Growing Expectation for Supercritical Fluid Technologies by the Practical Application for Water-Free Dyeing Satoko OKUBAYASHI ... P-323

〈Special Issue on Paradigm Shift of Fiber & Polymer Processing by Supercritical Fluids〉

Preparation of Acellular Artificial Tissue Using Supercritical Fluid Extraction Method Kazuya SAWADA and Toshiya FUJISATO ... P-324

CFRP Recycling Using Supercritical Fluids Idzumi OKAJIMA and Takeshi SAKO ... P-331

Crystallization and Microcellular Foaming of Polymers by Using High-Pressure and Supercritical Carbon Dioxide Shigeo ASAI ... P-335

Water-Free Dyeing of Textiles from Lab to Industrial Scale Geert Feye WOERLEE ... P-341

〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 7〉

Case Study on Diffusion and Tradition of Festival
–Heron and Ship-Type Festival Float of Gion Festival in Saku Iwamura Town–
..... Yoshiko MITAMURA ... P-343

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

–History of the Production, Sales, and Product Development– 2〉

PREWAR PART, I, Expansion of Cotton Spinning Industries Supported by the Government
Policy of Encouragement of New Industry (2 of 2) Yoshihiro MATSUSHITA ... P-348

〈Report〉

The 6th International Symposium on High-Tech Fiber Engineering for Young Researcher 2013, Seoul, Korea
..... Kota SUZUKI ... P-352

Report on The 44th Summer Seminar “In an Effort to Globalize Fiber –Think Globally, Act Locally–”
..... The Executive Committee ... P-354

Protecting-Group-Free Synthesis of Oligosaccharide-Functionalized Polylactides and Investigation of their Properties Tomonari TANAKA ... P-358

Preparation of New Functionality Materials Using Cellulose and Nanofiber
..... Hiromitsu NAKANISHI ... P-361

〈Minutes〉

Summary of 650th Sen'i Gakkai Board of Directors P-364

[Original Articles]

〈Transactions〉

Bleaching of Dyes with Laccases
..... Naoko NAGASHIMA, Takaaki ISHIKAWA, and Toru TAKAGISHI ... 183

Preparation of Apatite / TiO₂ / PET Hybrid Materials by Utilizing Self-Assembled Monolayers
Formation and Subsequent Controlled Surface Graft Polymerization
..... Jin MOTOYANAGI, Yugo FUKUMOTO, and Masahiko MINODA ... 191

〈Technical Paper〉

Dyeing Cotton Fabrics with Clay Pigments for Declining Environmental Load
..... Mai TSUKAZAKI, Emiko KOMATSU, Miyuki MORITA, Satoshi OKAMURA,
Clara MORITA, Yoshiro IMURA, and Takeshi KAWAI ... 198

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.69 No.10

October 2013

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

Bleaching of Dyes with Laccases Naoko Nagashima, Takaaki Ishikawa, and Toru Takagishi ... 183

Preparation of Apatite/TiO₂/PET Hybrid Materials by Utilizing Self-Assembled Monolayers

Formation and Subsequent Controlled Surface Graft Polymerization

..... Jin Motoyanagi, Yugo Fukumoto, and Masahiko Minoda ... 191

[Technical Paper]

Dyeing Cotton Fabrics with Clay Pigments for Declining Environmental Load

..... Mai Tsukazaki, Emiko Komatsu, Miyuki Morita, Satoshi Okamura,

Clara Morita, Yoshiro Imura, and Takeshi Kawai ... 198

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記のように一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報 文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬯 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	諸 岡 晴 美(京都女子大学) Harumi Morooka	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President T. Hirai (Shinshu University)

Vice-President T. Hori (University of Fukui)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

H. Hoshiro (Kuraray Co.,Ltd)

Member-promoting Officer H. Ogino (Tokyo University of Agriculture&Technology)

Editor "Sen'i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University)

Treasurers S. Shoda (Tohoku University)

T. Nishimatsu (Shinshu University)

K. Tashiro (Toyota Technological Institute)

K. Miyazaki (University of Fukui)

Y. Tsujii (Kyoto University)

M. Higa (Yamaguchi University)

Planning Officers T. Kanaya (Kyoto University)

Y. Maeda (Toray Industries,inc)

M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)



会 告

2013

Vol. 69, No. 10 (October 2013)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
25. 10. 21(月) ~23(水)	第 63 回ネットワークポリマー講演討論会(千葉市・千葉大学 けやき会館)	A9
10. 21(月) 22(火)	第 71 回熱測定講習会-蛋白質・バイオ医薬研究のための熱分析の基礎と応用-(吹田市・大阪大学吹田キャンパス)	A9
10. 25(金)	世界屈指の総合スポーツ用品メーカー「ミズノ(株)」見学会(大阪市・ミズノ(株)大阪本社)	A9
10. 31(木)	繊維学会西部支部セミナー~短いペプチド鎖の神秘とその応用~(北九州市・北九州市立大学国際環境工学部 ひびきのキャンパス)	A8
11. 1(金)	繊維の応用講座「品質最高、元気再興、世界に輝け 日本のものづくり!!」-ものづくりで世界に挑戦、元気な日本を目指して-(東京都・東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール)	A3
11. 1(金)	第 196 回ゴム技術シンポジウム「ゴム分析の基礎」(東京都・東京電業会館地下ホール)	A9
11. 8(金)	第 37 回先端繊維素材研究委員会講演会・繊維加工研究委員会関西委員会講演会 繊維・高分子材料の高次構造制御と応用-配向と次元性-(宇治市・京都大学宇治キャンパス)	A6
11. 8(金)	第 1 回実用技術講座-実用濃厚スラリーの機能・特性と分散性の関係を探る-(東京都・日本化学会化学会館)	A9
11. 11(月) 12(火)	第 45 回洗浄に関するシンポジウム 特集「高機能化剤の洗浄分野への応用」(東京都・タワーホール船堀)	A10
11. 12(火) 13(水)	第 54 回秋季ゴム技術講習会 ブレークスルーのためのメカニズム再理解(東京都・東京電業会館地下ホール)	A10
11. 18(月)	第 138 回講演会 バイオプラスチック関連技術の現状と今後の展望-新素材開発と応用の最新動向-(東京都・工学院大学 新宿キャンパス高層棟)	A10
11. 20(水)	京都工芸繊維大学 繊維科学センター「第 4 回大阪地区講演会」産官学で繊維の未来を築く(大阪市・綿業会館新館 7 階大会場)	A4
11. 22(金)	第 35 回関西繊維科学講座「高分子の構造制御が生み出す新しい膜分離」講演と製品展示会(宇治市・京都大学宇治キャンパス)	A5
11. 25(月) 26(火)	第 57 回日本学術会議材料工学連合講演会(京都市・京都テルサ)	A10
11. 27(水)	学術講演会(繊維学会東北・北海道支部特別企画)(福島市・福島大学)	A7
11. 28(木) 29(金)	第 22 回ポリマー材料フォーラム(東京都・タワーホール船堀)	A11
11. 30(土) 12. 1(日)	第 37 回人間-生活環境系シンポジウム(神戸市・神戸大学総合研究拠点)	A11
11. 30(土)	第 21 回和紙文化講演会(東京都・東京藝術大学美術学部第一講義室)	A11
12. 6(金)	「テキスタイル工学(第 2 回)」講演会(東京都・東工大キャンパス・イノベーションセンター)	A11
12. 21(土)	第 27 回 東海支部若手繊維研究会(名古屋市・豊田工業大学本館ホール)	A8
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成25年 1 月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成25年10月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年10月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)	出口 潤子(旭化成せんい(株))	金 翼水(信州大学)	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大学大学院)	大島 直久(東海染工(株))	寺本 喜彦(東洋紡(株))	中西 輝薫(ユニチカトレーディング(株))
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	高崎 緑(宮城教育大)	村山 泰(信州大学)	八重田 徹(王子ホールディングス(株))
	高瀬 栄一(三菱レイヨン(株))	増田 正人(東レ(株))		
	西山 幸次(京都大学化学研究所)			
	山田 秀夫(帝人(株))			
顧問	浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト)	浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)		

平成25年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
繊維の応用講座	平成25年11月1日(金)	東工大蔵前会館(東京)

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成26年度年次大会	平成26年6月11日(水)～13日(金)	タワーホール船堀(東京)
創立70周年記念事業 (式典・国際シンポジウム)	平成26年9月28日(日)～10月1日(水)	東京ビッグサイト TFTホール(東京・有明)

繊維学会繊維科学・技術研究助成の募集

本年度も新進気鋭の研究者の繊維科学・技術の基礎研究に対する助成を行い、基礎研究の振興を図り、若手の人材を育成することを目的に助成申請者を募集します。

募集期間：平成25年10月1日(火)から平成25年12月25日(水)

募集要項：

- 申請者は、教育機関または研究機関に所属する専任者で本会会員の者。
- 申請者は、授与される年の4月1日において満40歳未満であること。
- 申請には所定の用紙を用いるが、次の各項を含むものとする。
 - 研究目的
 - 研究計画：向こう1年間の計画を具体的に記す。
 - 所属長(学科長・室長など)の推薦
 - 履歴者：一般の履歴書の他、最近5年間の研究論文リストを付す。

*申請用紙の必要な方は、学会事務局までご連絡ください。

- 研究助成は1件ないし2件を予定しています。
- 本研究の報告書を助成期間満了後6カ月以内に提出する。その要旨を「繊維と工業」誌上に公表するものとする。
- 本研究を公表する際には本研究助成を受けた旨を付記するものとする。
- 会計報告を所定の用紙にて行うものとする。

選考方法：選考委員による選定を経て、理事会にて決定する。

申請書送付先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 事務局

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260

E-mail: office@fiber.or.jp

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

(中法)学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

繊維の応用講座
『品質最高、元気再興、世界に輝け 日本のものづくり!!』
— ものづくりで世界に挑戦、元気な日本を目指して —

現在、日本の製造業は、国内需要の減少や円高などにより、大変厳しい状況に直面しています。こうした厳しい状況にあればこそ、ものづくりの第一線で活躍する方々のたゆまぬ努力や優れた成果にスポットを当て、広く発信してゆくことが、ものづくりに携わる全ての方々の意欲向上につながると考えています。

今回の繊維学会応用講座は、『品質最高、元気再興、世界に輝け 日本のものづくり!!』をテーマとして、繊維産業を中心として各産業分野で、ユニークな素材、商品並びに匠の技術を有する企業や研究機関の方々に、御紹介を賜り、今後の展望並びに将来像を判り易く解説して頂きます。

繊維業界のものづくりに携わる多くの方々が元気になることは、ひいては繊維の研究開発や製造業が今後も力強く成長してゆく原動力になるものと確信しております。各位には非常に有益な講演会と思われますので、多数のご参加をお願いいたします。

主 催： 一般社団法人 繊維学会

日 時： 平成 25 年 11 月 1 日(金) 10:00～17:00

場 所： 東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール
〒152-0033 東京都目黒区大岡山 2 丁目 12-1 東工大蔵前会館
東工大蔵前会館インフォメーション TEL:03-5734-3737
(東京急行大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩 1 分 駅前すぐ)

— プログラム —

10:00～10:50 『3D プリンターが描く新しいビジネス』

アルテック(株) デジタルプリンター事業部 原 裕之

10:50～11:40 『自然から学ぶこれからの香料開発』

高砂香料工業(株) 研究開発本部 江村 誠

11:40～13:00 昼食

13:00～13:50 『インクジェット染料の高耐久化のための分子設計と製造法の確立』

富士フイルム(株) R&D 統括本部有機合成化学研究所 主席研究員 矢吹 嘉治

13:50～14:40 『今治タオル、世界に通じるブランド構築の道』

今治市 産業部長 桧垣 達哉

14:50～15:40 『ピッチ系炭素繊維の開発の歴史と産業分野への応用展開』

日本グラファイトファイバー(株) 部長 大野 秀幸

15:40～16:30 『新しい研究視点の創造 細胞生物学のブレイクスルー』

ライブセルイメージングで見る細胞内膜交通 理化学研究所/東大院・理 教授 中野 明彦

※応用講座終了後に、名刺交換会を予定しております。是非、ご参加ください。

定 員：120 名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：正会員・企業会員(維持・賛助会員 含む)：15,000 円 企業非会員：18,000 円

大学官公庁関係会員：10,000 円 大学官公庁非会員：14,000 円

学生会員：3,000 円 学生非会員：5,000 円

申込方法：参加申込は繊維学会ホームページのイベント「応用講座」よりお願いします。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail:office@fiber.or.jp HP: http://www.fiber.or.jp/

京都工芸繊維大学 繊維科学センター「第4回大阪地区講演会」 産官学で繊維の未来を築く

協 賛：繊維学会、日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会、京都市産業技術研究所、兵庫県立工業技術センター、
日本繊維技術士センター、繊維・未来塾(交渉予定)

日 時：2013年11月20日(水) 13:00～17:35(12:30 受付開始)

場 所：綿業会館新館7階大会場(<http://www.mengyo-club.or.jp/>)

〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目5番8号

(TEL:06-6231-4881(代) FAX:06-6231-4940)

定 員：150名

参加費：無料

【プログラム】

◆開会の辞

13:00～13:10

司会：繊維科学センター繊維機能プロセス開発室長 浦川 宏
京都工芸繊維大学長 古山正雄

◆研究紹介

13:10～14:10

「DNA バイオプラスチック」 繊維科学センターインテリジェント繊維開発室 青木隆史
「酵素触媒による新奇な多糖超分子ポリマーの創製」

繊維科学センターインテリジェント繊維開発室 田中知成
「天然染料のインクジェット染色に関する研究」 繊維科学センター繊維機能プロセス開発室 綿岡 勲
「機能性末端基を有するオリゴマーの精密合成と利用」

繊維科学センター繊維機能プロセス開発室 箕田雅彦
「ナノファイバー液晶複合系の光学特性及びレオロジー挙動と界面効果」

繊維科学センター繊維機能プロセス開発室 田中克史
「色彩にかかわる繊維研究」 繊維科学センター繊維デザイン戦略室 佐藤哲也
「繊維事業におけるグローバル戦略の研究」 繊維科学センター繊維デザイン戦略室 坂本和子

14:10～14:20 休憩

◆特別講演

14:20～15:10

「経済産業省の今後の繊維政策」 司会：繊維科学センター 繊維デザイン戦略室室長 佐藤哲也

15:10～16:00

「繊維産業の展望と課題」 経済産業省製造産業局繊維課長 片岡進氏

16:00～16:15

休憩 日本繊維産業連盟会長 下村 彬一氏

◆パネルディスカッション

16:15～17:30

司会：繊維科学センター 特任教授 松下義弘
パネリスト：下村彬一 日本繊維産業連盟会長
片岡 進 経済産業省製造産業局繊維課長
木村照夫 日本繊維機械学会長(京都工芸繊維大学)
木村良晴 前繊維学会長(京都工芸繊維大学)

◆閉会の辞

17:30～17:35

繊維科学センター長 山根秀樹

〔終了後、意見交換会を行います。是非ご参加ください。〕

18:00～19:30 意見交換会

場 所：綿業会館 本館7階大会場

会 費：3,000円

○参加のお申込み

WEBで直接お申し込みいただくか、参加申込書をFAX・E-mailでご送付ください。

《京都工芸繊維大学 繊維科学センター》

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

電話番号：075-724-7701

FAX 番号：075-724-7705

E-mail アドレス：fiber@kit.ac.jp

参加申込アドレス：http://research.jim.kit.ac.jp/nc/html/htdocs/?page_id=85

(繊維科学センターホームページ[<http://www.cfts.kit.ac.jp/>]からのご案内しています。)

申込締切日：11月6日(水)(ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

第 35 回関西繊維科学講座 “高分子の構造制御が生み出す新しい膜分離” 講演と製品展示会

開催趣旨：

分離技術の一つである膜分離法は、薄膜により溶液中にある分子レベルのナノメートルオーダーから粒子レベルのミリメートルオーダーの大きさまでの幅広い物質の分離に使われる方法です。大部分の膜分離法に使用される膜は高分子を素材としており、多くの場合、膜素材高分子の溶液の相分離・結晶化などにより多孔体を形成することによって作製されています。これらの分離膜の高機能化においては、膜中における相転移現象の非平衡過程などによる、高度な高分子材料の多孔体などの精密な構造制御が求められています。

本講座では、高分子膜分離技術の第一線で活躍されている先生方をお招きして、高分子膜の構造形成の基礎から膜分離に関する最新の話題をご講演いただきます。さらに各社の出展製品もご覧頂くことによって、高分子の構造制御が生み出す膜分離の将来への展望を見出して頂ければと思っております。

また、本講座において、当支部が選考する「関西繊維科学研究奨励賞」の表彰を行い、気鋭の研究成果を披露いただきます。多数のご参加をお待ちしています。

主 催：(社)繊維学会関西支部

協 賛：高分子学会、日本繊維製品消費科学会、日本膜学会

日 時：平成 25 年 11 月 22 日(金) 9:50~17:00

場 所：京都大学宇治キャンパス 化学研究所 共同研究棟 大セミナー室

プログラム：

1. 講演

- | | |
|---|--------------------|
| ① 10:00~11:00 「高分子表面の構造制御と膜材料への展開」 | 神戸大学 西野 孝 |
| ② 11:00~12:00 「神戸大学先端膜工学センターの取り組みと研究紹介」 | 神戸大学 松山 秀人 |
| ③ 13:00~13:40 「ポリアミド中空糸膜の開発」 | ユニチカ(株) 小野 貴博 |
| ④ 13:40~14:20 「人工腎臓用中空糸膜」 | 東洋紡(株) 香山 晴彦、加藤 典昭 |
| ⑤ 14:20~15:00 「高機能水処理用 PVDF 膜」 | 東レ(株) 小森 研司 |

2. 関西繊維科学研究奨励賞

①表彰式(15:20~15:30)

②受賞講演(15:30~17:00)

「環状高分子を構成要素とするトポロジカルブレンド高分子の結晶化制御を鍵とした高性能繊維材料の開発」

岡山大学 山崎 慎一

「中性子反射率による高分子薄膜のガラス転移温度の分布に関する研究」

京都大学 井上倫太郎

「糖質を利用した繊維加工技術に関する研究」

大阪市立工業研究所 大江 猛

3. 製品展示：12:00~13:00 / 15:00~15:20

①ポリアミド中空糸膜関連のパネル、サンプル(ユニチカ(株))

②人工腎臓用中空糸膜サンプル(東洋紡(株))

③PVDF 中空糸膜モジュールのカットサンプル(東レ(株))

4. 交流会：17:00~18:00

簡単な軽食にて、講師を交えた交流会を開催します。会費無料。

参加費：会員外：7,500 円、会員：4,500 円、学生：1,500 円

振込先：京都銀行下鴨支店(142) 普通預金口座 920965

加入者名：繊維学会関西支部(センイガッカイカンサイシブ)

申込方法：氏名・所属、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)を明記の上、下記申込先に FAX、E-mail 又はハガキにてお申し込み下さい。

参加費振込みに請求書が必要な方は御記入願います。

申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻

浦川研究室内 繊維学会関西支部 第 35 回関西繊維科学講座係宛

TEL: 075-724-7567 FAX: 075-724-7564 E-mail: kansai@chem.kit.ac.jp

関西支部「関西繊維科学研究奨励賞」

繊維学会関西支部では、若手研究者の皆さんの研究活動を支援すべく、「関西繊維科学研究奨励賞」を設けています。

平成 25 年度受賞者の決定

厳正な審査の結果、下記の受賞を決定しました。なお、授与式ならびに受賞講演は、関西支部主催の第 35 回関西繊維科学講座(平成 25 年 11 月 22 日)にて執り行う予定です。

◎大江 猛 氏(大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部)

研究タイトル：「糖質を利用した繊維加工技術に関する研究」

第 37 回先端繊維素材研究委員会講演会・繊維加工研究委員会関西委員会講演会 繊維・高分子材料の高次構造制御と応用 ― 配向と次元性 ―

主 催：(一社)繊維学会・先端繊維素材研究委員会 (AFMc)、繊維加工研究委員会関西委員会

日 時：平成 25 年 11 月 8 日(金) 13:30~17:10

場 所：京都大学宇治キャンパス、化学研究所共同研究棟大セミナー室(〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄)

JR 奈良線または京阪宇治線、黄檗駅から徒歩 5~10 分

繊維は、基本に立ち返ると、素材を主として 1 次元に配向制御することによりその機能を発現させたものである。このように「構造の次元性」や「配向」は、機能性発現のおおきな制御要因と考えられる。本講演会では、表題に即して、繊維・高分子材料における配向や次元性をキーワードに、関連分野の気鋭の研究者の方々にその基礎と応用についてご講演をいただき、参加者とともに議論を深めたい。多数の方のご参加をお待ちしております。

プログラム

13:30~14:20 「高分子薄膜の不均一性の評価」	京都大学化学研究所 井上倫太郎
14:20~15:10 「ポリマーブラシの配向性と機能」	京都大学化学研究所 辻井 敬亘
15:10~15:30 休憩	
15:30~16:20 「ポリマーネットワークの伸長構造形成」	京都大学化学研究所 登阪 雅聡
16:20~17:10 「繊維構造の生体適合性と非適合性」	国立循環器病研究センター 山岡 哲二

定 員：約 50 名(先着順)

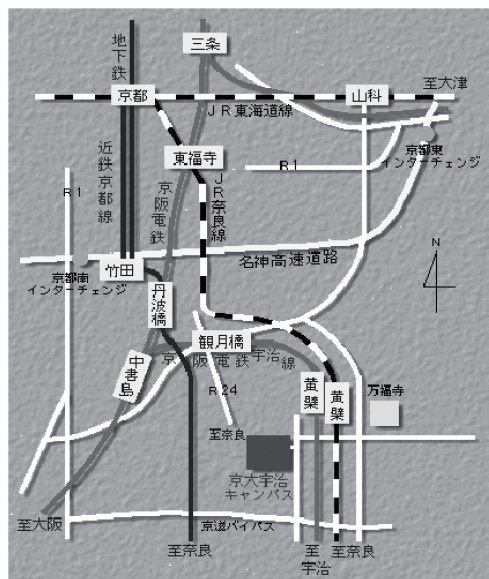
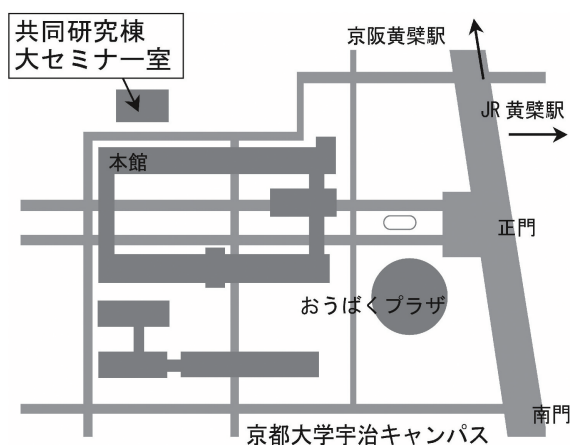
参加費：先端繊維素材研究委員会および繊維加工研究委員会会員 無料

(法人会員は会員と 1 名まで無料)、会員外 5,000 円

申込方法：平成 25 年 11 月 1 日(金)までに葉書、FAX または E-mail にて、氏名・所属・連絡先をご記入の上、下記宛てにお申込ください。

申込先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 高分子物質科学領域内 AFMc 係

TEL: 0774-38-3142 FAX: 0774-38-3146 (AFMc 事務局直通) E-mail: zaibutu2@scl.kyoto-u.ac.jp



学術講演会(繊維学会東北・北海道支部特別企画)

趣 旨：東北・北海道地区の研究者、一般企業の研究者、国外の第一線研究者を招いて、「高分子・繊維・接着ほか」に関する最前線の研究成果の講演会を行う。聴講者に高分子関連分野の魅力を感じていただき、参加研究者間の交流をはかる。

主 催：福島大学共生システム理工学類、繊維学会東北・北海道支部、高分子学会東北支部

共 催：接着学会東北支部、東北ポリマー懇話会

日 時：平成 25 年 11 月 27 日(水) 13:00~17:30

場 所：福島市金谷川 1 番地 福島大学 M1 教室

交 通：東北本線金谷川駅下車 徒歩 5-10 分

プログラム

- 1) 「繊維系誘電高分子の新たな機能開発について
ー電場応答柔軟材料としての可能性」
信州大名誉教授・繊維学会会長 平井 利博
- 2) 「Bio-based polyester with isosorbide」「イソソルビド含有バイオ由来のポリエステル」
韓国・漢陽大学教授 任 承淳
- 3) 「溶融紡糸法による光学機能繊維の創製」
東工大大学院教授・繊維学会副会長 鞠谷 雄士
- 4) 「東北・北海道地区の研究紹介」
 - (1) 水中における最短グリコシル化プロセスを目指して
東北大教授・繊維学会東北・北海道支部長 正田晋一郎
 - (2) 電気光学素子への応用を目指した極性高分子材料の作製 山形大教授 岡田 修司
 - (3) グリーンマテリアル高分子の結晶構造と機能高分子材料の作製
山形大准教授 松葉 豪
 - (4) 種々の熱応答性ポリマーの合成と応用
山形大准教授 佐藤 力哉
 - (5) 高導電性ポリアニリンの合成と応用
山形大教授 倉本 憲幸
 - (6) 接着剤を使わないで接着する技術
福島大教授・接着学会東北支部長 金澤 等
 - (7) その他：参加教官による話が加わります(支部以外もあります)。
- 5) 産業界からの講演：森重地加男(東洋紡・フィルム開発部長)：環境対応フィルム(バイオ、サイクル等)、その他企業からの参加者による講演が数件予定されています。

参加要領：

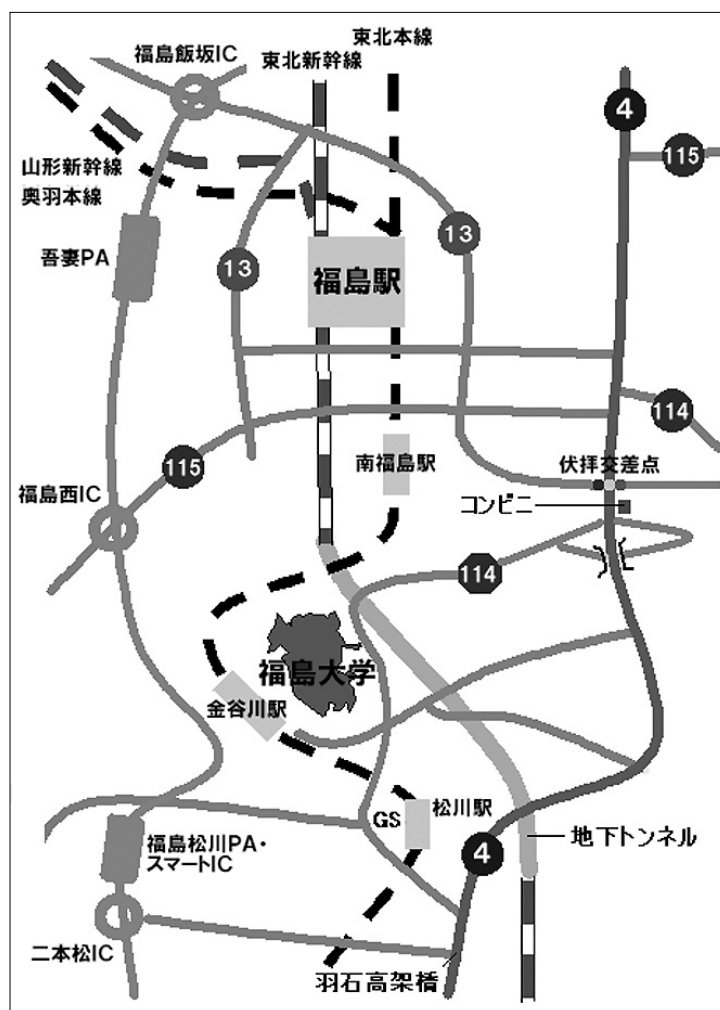
- 1) 参加費無料
- 2) 申込方法 氏名、所属、連絡先を明記し、電子メール、葉書、または FAX でお申し込みください。
- 3) 懇親会あり(福島市郊外・野地温泉にて；お問合せください)

問合せ・申込先：

E-mail：金澤 等(kana@sss.fukushima-u.ac.jp)または、稲田(inada_aya@yahoo.co.jp)

TEL: 024-548-8184 FAX: 024-548-5208

〒960-1296 福島市金谷川 1 番地 福島大学共生システム理工学類 金澤研究室



繊維学会西部支部セミナー ～短いペプチド鎖の神秘とその応用～

日 時：平成 25 年 10 月 31 日(木) 15:00～

場 所：北九州市立大学 国際環境工学部 ひびきのキャンパス

N 棟 4 階第一会議室 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

プログラム：

講演 1 15:00～15:55 「ペプチドシャペロニング材料による脂質膜構造制御」

東京工業大学大学院生命理工学研究科 丸山 厚

〈15:55～16:00 休憩〉

講演 2 16:00～16:55 「細胞制御機能を有するペプチドナノファイバーの開発と応用」

京都工芸繊維大学生体分子工学部門 田中 直毅

〈16:55～17:00 休憩〉

講演 3 17:00～17:40 「多糖を利用した細胞特異的核酸キャリアの開発と応用」

北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 望月 慎一

参加要領：

1) 参加費：無料

2) 交通アクセス：<http://www.kitakyu-u.ac.jp/env/access.html>

3) 問合わせ先 北九州市立大学

国際環境工学部 環境生命工学科 櫻井 和朗

TEL: 093-695-3298 FAX: 093-695-3390

E-mail: r-kunitake@kitakyu-u.ac.jp

第 27 回 東海支部若手繊維研究会

共 催：繊維学会東海支部、日本繊維機械学会東海支部、日本繊維製品消費科学会東海支部

日 時：平成 25 年 12 月 21 日(土)

一般研究発表 10:00～17:20

(若手研究者による講演会「あなた方の知らない繊維関連研究分野への誘い：私の研究経験を基にして」(予定)を含む)

情報交換会 17:30～19:30

場 所：豊田工業大学 本館ホール(名古屋市天白区久方 2-12-1)

情報交換会 食堂

アクセス (名古屋市営地下鉄桜通線相生山駅下車、山手に徒歩 12 分)

<http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html>

当日はできるだけ公共交通をご利用ください。

内 容：一般研究発表、懇親会

研究発表申し込み：

発表題目、発表者名(共同研究の場合は発表者に○印)、所属、連絡者名、連絡先(郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス)をご記入の上、E-mail または FAX で、以下の申込先にお申し込みください。

研究発表申し込み締め切り：11 月 2 日(土)

予稿集提出締め切り：11 月 25 日(月)

参加申し込み：氏名、所属、連絡先(郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス)をご記入の上、E-mail または FAX で、以下の申込先に 12 月 14 日(土)までにお申し込みください。

参加費：1,000 円(発表者、学生は無料) 情報交換会費 3,000 円(学生は 1,000 円)

申込先：〒468-8511 愛知県名古屋市天白区久方 2-12-1 豊田工業大学極限材料専攻

繊維学会東海支部 田代孝二

TEL: 052-809-1790 FAX: 052-809-1793 E-mail: ktashiro@toyota-ti.ac.jp

第 63 回ネットワークポリマー講演討論会

特定テーマ：熱マネージメントとネットワークポリマー

主 催：合成樹脂工業協会

共 催：(一社)日本接着学会

日 時：平成 25 年 10 月 21 日(月)、22 日(火)、23 日(水)

場 所：千葉大学 けやき会館

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生 1-33

詳細プログラムについては合成樹脂工業会に確認
してください。

第 71 回熱測定講習会 — 蛋白質・バイオ医薬研究のための 熱分析の基礎と応用 —

主 催：日本熱測定学会

日 時：平成 25 年 10 月 21 日(月)、22 日(火)

場 所：大阪大学吹田キャンパス(産連本部 A 棟)

プログラム：21 日(月)講演 4 件

22 日(火)実習

テキスト：担当講師執筆による講演要
旨・資料

サブテキスト：熱量測定・熱分析ハン
ドブック

詳細プログラムについては下記の問合せ先に確認
してください。

問合せ先：日本熱測定学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7

宮沢ビル 601 TEL: 03-5821-7120

E-mail: netsu@mbd.nifty.com

世界屈指の総合スポーツ用品メーカー 「ミズノ(株)」見学会

主 催：日本繊維技術士センター(JTCC)技術情報・CPD
委員会

日 時：平成 25 年 10 月 25 日(金) 13:30~17:00

場 所：ミズノ(株)大阪本社

大阪市住之江区南港北 1-12-35

集合場所：ミズノクリスタルビル内 ミズノ(株)大阪本社

13 時 15 分までに集合(時間厳守)

申込み締切日：平成 25 年 10 月 16 日(水)

参加申込、問合せ先：

日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務所

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-7-18

TEL: 06-6339-1237 FAX: 06-6339-0337

第 196 回ゴム技術シンポジウム 「ゴム分析の基礎」

主 催：(一社)日本ゴム協会 分析研究分科会

日 時：平成 25 年 11 月 1 日(金) 10:00~16:40

場 所：東京電業会館地下ホール

東京都港区元赤坂 1-7-8 TEL: 03-3403-5181

プログラム：

ゴム分析概論 プリヂストーン 原田美奈子

高分子の熱分析とガラス転移温度近傍の熱的挙動

協和界面科学 星 埜 由典

ゴム材料のトラブル解析

化学物質評価研究機構 仲山 和海

パイオライザ GC/MS による高分子材料の分析および多
変量解析の適用

アジレント・テクノロジー 中村 貞夫

パルス法 NMR を用いた架橋解析

岡山県工業技術センター 岩 路 仁

問合せ先：(一社)日本ゴム協会 研究部会担当 中川

TEL: 03-3401-2957

E-mail: nakagawa@srij.or.jp

第 1 回実用技術講座 — 実用濃厚スラリーの機能・特性と 分散性の関係を探る —

主 催：日本化学会コロイドおよび界面化学部会

日 時：平成 25 年 11 月 8 日(金) 10:00~17:10

場 所：日本化学会化学会館

プログラム：

General considerations regarding evaluation of
dispersibility and In-situ characterization by separation
behaviour

ISO/TC24/SC4WG16：分散安定性評価グループ

Dietmar Lerche

濃厚ヘテロ分散系の塗料設計について

日本ペイント 山本 正治

濃厚スラリーの流体力凝集と構造粘性

東京大学 山口由岐夫

レオロジーで不均一を測る

～レオロジーなんかこわくない！～

日本レオロジー学会 上田 隆宣

化粧品用粉体の機能性に及ぼす分散特性の影響

資生堂 那須 昭夫

セメントの分散性制御とその特性/建材分野への適用事例

ライオン 野田 泰史

顔料粒子と樹脂粒子を含む水性インクジェットインクに
おける流動と界面作用 元、キャノン 野口 弘道

問合せ先：公益社団法人 日本化学会コロイドおよび界面
化学部会
第1回実用技術講座 事務局
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
TEL: 03-3292-6163
E-mail: dcsc@chemistry.or.jp

ゴム材料における伸長変形挙動と架橋形態の関係
東京理科大学 藤 真義
ゴムの伸長結晶性 京都大学 登阪 雅聡
超分子(トポロジカル)架橋
東京工業大学 高田十志和

問合せ先：(一社)日本ゴム協会関東支部 秋季ゴム技術講
習係 TEL: 03-3401-2957
E-mail: srij.kanto@srij.or.jp

第45回洗浄に関するシンポジウム 特集「高機能化剤の洗浄分野への応用」

主 催：(公社)日本油化学会 洗浄・洗剤部会
日 時：平成25年11月11日(月)、12日(火)
場 所：タワーホール船堀 5階小ホール
東京都江戸川区船堀4-1-1 TEL: 03-5676-2211
プログラム：
11日(月) オリジナルレポート(4件)
特集 高機能化剤の洗浄分野への応用(5件)
12日(火) オリジナルレポート(7件)
一般講演(3件)
詳細プログラムについては下記の問合せ先に確認してく
ださい。
問合せ先：日本油化学会 洗浄・洗剤部会 事務局
ライオン(株)機能素材研究所 兵藤 亮
〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1
FAX: 03-3616-5376
E-mail: senjou45@iml.chem.kit.ac.jp

第54回秋季ゴム技術講習会 — ブレークスルーのための メカニズム再理解 —

主 催：(一社)日本ゴム協会関東支部
日 時：平成25年11月12日(火)、13日(水) 10:00~16:20
場 所：東京電業会館地下ホール
東京都港区元赤坂1-7-8 TEL: 03-3403-5181
プログラム：
12日(火) ゴムの統一補強論 ロンドン大学 深堀 美英
ゴムの中のナノフェラー分散・凝集構造と物理
日産アーク 加藤 淳
ゴム・金属の加硫接着機構
横浜ゴム 鹿久保隆志
タイヤゴム部材の走行による状態変化
元、横浜ゴム 阿波根朝浩
13日(水) ゴム練りの挙動について
久留米リサーチ・パーク 藤 道治

第138回講演会 バイオプラスチック関連技術の現状と今後の展望 — 新素材開発と応用の最新動向 —

主 催：プラスチック成形加工学会
共 催：日本バイオプラスチック協会
日 時：平成25年11月18日(月) 10:00~16:40
場 所：工学院大学 新宿キャンパス高層棟 28F
第1・第2会議室
新宿区西新宿1-24-2 TEL: 03-3342-1211
プログラム：
バイオプラスチック技術の現状・今後の展望と製品認証
制度 日本バイオプラスチック協会 猪股 勲
ポリ乳酸の高性能化技術および新しいバイオポリマー
ユニチカ 川田 憲一
ヒマシ油由来高機能ポリアミド樹脂材料の特徴と用途展開
アルケマ 下西 祥幸
植物イソプレノイド由来高機能バイオポリマー
日立造船/大阪大学 中澤 慶久
電子機器用バイオプラスチックの現状と将来展望
日本電気 位地 正年
詳細プログラムについては下記の問合せ先に確認してく
ださい。

問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会 事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎5-8-5
グリーンプラザ五反田第2 205
TEL: 03-5436-3822 FAX: 03-3779-9698

第57回日本学術会議材料工学連合講演会

担当世話学会：日本材料学会
共 催：日本学術会議材料工学教育会、他関連34学協会
日 時：平成25年11月25日(月)、26日(火)
場 所：京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿
田町70 TEL: 075-692-3400
プログラム：
基調講演、特別講演、招待講演、オーガナイズドセッ

ション ほか
プログラムは日本材料学会ホームページ
<http://www.jsms.jp/>に掲載しています。
プログラムファイルがご入用の場合は jimu@jsms.jp に
ご連絡ください。

第 22 回ポリマー材料フォーラム

主 催：(公社)高分子学会
日 時：平成 25 年 11 月 28 日(木)、29 日(金)
場 所：タワーホール船堀
東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL:03-5676-2211
プログラム：
詳細およびプログラムについては下記ホームページをご
参照ください。
第 22 回ポリマー材料フォーラム
ホームページ <http://main.spsj.or.jp/pmf.html>
問合せ先：公益社団法人 高分子学会 神宮司 努
〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9
新富町ビル 6F TEL:03-5540-3771
E-mail: 22pmf@spsj.or.jp

第 37 回人間 — 生活環境系シンポジウム

主 催：人間—生活環境系学会
日 時：平成 25 年 11 月 30 日(土)、12 月 1 日(日)
場 所：神戸大学総合研究拠点
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 7-1-48
プログラム：
口頭発表、ポスター発表、総会、学会賞表彰式
詳細についてはホームページ <http://www.jhes-jp.com>
をご参照ください。
問合せ先：神戸大学大学院工学研究科建築学専攻
高田 暁
TEL:078-803-6038
E-mail: satoruta@kobe-u.ac.jp

第 21 回和紙文化講演会

開催テーマ：作画に用いられる様々な和紙～古典から現代
まで～
主 催：和紙文化研究会
日 時：平成 25 年 11 月 30 日(土) 10:00～17:00

場 所：東京藝術大学美術学部第一講義室
プログラム：
「日本画用紙の今日的諸相と抄紙環境」 関 出
「絵巻に適した鎌倉時代の和紙再現－抄紙と打紙加工に
ついて」 宮下真理子
「墨の概要および伊藤若冲紙本墨画の使用材料につい
て」 宇高健太郎
「修理現場における紙製文化財の種類と絵画について」
半田 正博
「我が国における絵画に使われた紙－材料と表現の史的
関係を求めて－」 渡邊 明義
詳細プログラムについては下記の問合せ先に確認してく
ださい。
問合せ先：第 21 回和紙文化講演会事務局
〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
東京藝術大学大学院美術研究科 保存材料気付
TEL:080-5860-5943
E-mail: washibunka.koenkai@gmail.com

「テキスタイル工学(第 2 回)」講演会

主 催：繊維学会関東支部
共 催：繊維学会感覚と計測研究委員会、日本繊維機械学
会信越支部、感性工学会感覚工学部会
協 賛：信州大学繊維学部先進ファイバー試作開発セン
ター
日 時：平成 25 年 12 月 6 日(金) 13:30～17:00
場 所：東工大キャンパス・イノベーションセンター
多目的室 4
(JR 田町駅下車、芝浦側徒歩 1 分)
東京都港区芝浦 3-3-6
プログラム：
13:30～14:30 「糸づくり・紡績工学の基礎」
信州大学繊維学部 松本 陽一
14:35～15:35 「インテリア工学とインテリア繊維製品」
信州大学繊維学部 木村 裕和
15:40～16:40 「繊維製品の快適性(心地)を数値化する
には」 信州大学繊維学部 西松 豊典
定 員：30 名
参加費：2000 円
申込方法：下記宛に、氏名、所属、住所、E-mail を明記
の上、下記まで E-mail にてお申し込みください。
申込先：〒386-8567 上田市常田 3-15-1
信州大学繊維学部 堀場洋輔
TEL:0268-21-5590
E-mail: horiba@shinshu-u.ac.jp

繊維学会入会申込書 (維持、賛助会員用) Fax: 03-3441-3260

紹介者		会員種別	維持会員	賛助会員
		入会申込	西暦	年

[illegible]

1. 本申込書は会員原簿として保存します。判読できるよう太線枠内を明瞭にご記入ください。
2. 会員種別の欄は何れか一方を消してください。
3. 会 費：維持会員年額 1 口 210,000 円、賛助会員年額 1 口 70,000 円(入会金は不要です。)
4. 送り先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

(一般社団法人) 繊維学会 Tel: 03-3441-5627 Fax: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

※ 会員の個人情報は(一般社団法人)繊維学会が責任をもって管理し、目的以外には使用致しません。